

# 5.20 学級総合ガイダンス



聴く・問う・語る  
を通して、新たな  
気づきを得る

## 信州大学教育学部附属松本中学校 令和7年5月の様子

今年度より新たな試みとして、総合の学習をスタートしたばかりの1年生が、2・3年生に直接インタビューを行う場として全校での『学級総合ガイダンス』を実施しました。当日は、1年生からこれまでの学級総合の取り組みの様子や大切にしていること・活動の価値について、積極的に質問する姿が見られました。一方、2・3年生にとっても、これまでの活動を言語化することで、活動の意味や目的について改めて見つめ直す貴重な機会となりました。

今回の『学級総合ガイダンス』を通して、学年を越えたつながりが生まれただけでなく、全校で学び合い、支え合う雰囲気づくりにつながる手応えを感じています。今後もこのような取り組みを継続し、生徒一人一人が「自分たちの学び」を主体的に捉え、深めていけるように努めてまいります。

### 全体会の様子



総合系の先生から、目的が共有されたうえでインタビューがスタートしました。

### 新たな気づきを得た1年生



「自分は地球市民として何がしたいか、という発想がなかった」と新たな気づきを得て振り返る一年生の姿がありました。



### 目を合わせて積極的に

気になることをとことん質問する、積極的な姿がたくさん見られました。



### 先生方も一緒に

学ぶのは生徒だけではなく、先生方もたくさん質問をしながら、共に学びます。